学校番号	313

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高校生の美術２」（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「表現」における＜絵画、デザイン＞、「鑑賞」の分野について高校美術の応用を学習します。
・美術への理解、教養を高め、楽しみながら表現を学んでいきましょう。授業では自主性、能動的な取り組みを重視します。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】美術Ⅰでの学習をもとに創造的な表現のため必要な技能をさらに身に着けることができる。
【思考力、判断力、表現力等】美術の創造的な諸活動を通して美的体験を豊かにし、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばすことができる
【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、美術文化についての理解を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。 素材の特質や、制作工程などを理解している。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	オリエンテーション	・教科書、先輩の作品などを鑑賞し、多様な表現形式について学んで「美術Ⅱ」の学習イメージを持つ。 ・学習目標・評価方法について理解する。	a:本校生、教科書の作品を鑑賞し、学習内容、授業の進め方を理解する c: 多様な表現の作品に興味を持ち、制作意欲を高めているか	観察		観察
	絵画模写	絵画（アクリル） ・教科書や画集の作品を見て参考にする画家の作風を学ぶ。 ・色の作り方、構図、マチエールなどそれぞれ画家の特徴を知り、学習する。	a: 画家の作品を鑑賞し作風や技法への理解を深めているか。 b: ワークシートで学んだことを作品制作に生かそうとしているか。 b: 創造的な表現を工夫し作品に取り組んでいるか。 c: 多様な表現に興味関心を持って題材に取り組んでいるか。	ワークシート	製作途中作品 完成作品	観察 製作途中作品 完成作品
	鑑賞	・完成した1学期の自作について発表する ・他の生徒の作品を鑑賞し、意見を発表しまとめる	b: 美術作品などのよさや美しさを感じ取っている。 c:他の生徒の作品について興味､関心を持って交流している。	レポート	レポート 観察	レポート 観察
2学期	デザイン・工芸	・陶芸　陶箱	a: 陶土の特質を理解し造形的表現を構想できているか b: 機能的なデザインを考え、美しさと機能を共存させているか。 b:創造的な表現を工夫し､丁寧に作業できているか。 c: 陶芸の面白さに興味を持ち題材に取り組んでいるか	ワークシート 観察	製作途中作品 完成作品 観察	観察 完成作品
3学期		・一版多色刷（版画的表現）	a: 版画の特性や工程を理解し、注意しながら制作表現できているか。 b: 一版多色版画制作することを念頭にデザインを設定できているか c: 版画表現に興味を持ち、題材に取り組んでいるか。	観察 制作途中作品 完成作品	制作途中作品 完成作品	観察 制作途中作品 完成作品

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度